

教材・教具名 にぎ ぼう にぎってあそぼう
 「握りん棒」「握って遊棒」

所属部署 小学部

- 1 対象となる幼児児童生徒
 小学部1年生在籍児童（肢体不自由、重度重複）
- 2 教材を使用する活動
 自立活動
- 3 ねらい
 - ・手を握りしめたままの状態が長く続く児童に、手を弛緩することができるようにする。
 - ・物を掴んで遊ぶことが苦手な児童に、握って遊ぶことの楽しさが分かるようにする。

教材の使い方	配慮点
<p>○普段ゆったりと落ち着いている状態でも手は握りしめたままであるが掌に物を置くと手を開いたり握ったりすることができる。手を握りしめたままの状態が長く続く児童に、教材を使い、手を弛緩することができるようにする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>握りん棒→</p>  </div>	<p>○1日5分位を目安に掌に触激を与えて、自然に手の動きを促し、弛緩できるようにする。握る時間はその日の体調等を見ながら変動させる。</p>
<p>○普段ゆったりと落ち着いている状態でも、手は開いたままの児童であるが、掌に物を置くと一時は握ることができ、音のでるおもちゃの音が好きな児童に教材を使い、握って遊ぶことの楽しさが分かるようにする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>握って遊棒→</p>  </div>	<p>○1日5分位を目安に掌に刺激を与えて、手の動きを促し、継続して握ることができるようにする。握る時間はその日の体調等を見ながら変動させる。</p>